

「トキワ印刷通信」とは、トキワ印刷が自社の紹介や印刷業界のさまざまな情報をお送りする情報紙です。



再生紙とFSC森林認証紙の違い

環境に配慮した紙として「再生紙」と「FSC 森林認証紙」があります。 今回はそれぞれの特徴とメリット・デメリットを簡単に解説したいと思います。

再生紙とは

古紙をリサイクルして作った紙のこと。

(古紙=家庭や企業などで使用された紙をリサイクル目的で回収・分別された紙)



古紙をリサイクルするので、紙の廃棄ゴミを減らせる。

古段ボール→再度段ボールに。 古新聞紙→再度新聞紙やチラシ用紙・板紙に。 古雑誌→段ボールや板紙にリサイクルされる。



インキの乗りや光沢などのクオリティが、純パルプ紙に比べて劣る。 リサイクル工程で漂白剤など薬品を使用したり、CO2が発生する。



FSC 森林認証紙とは

生態系に配慮した適切な管理をしている森林から生産された木材パルプを原材料に作られた紙のこと。 (FSC=Forest Stewardsgiship Council:森林管理協議会の略)

- ・FSC 認証審査を通過することで認証番号が入った FSC マークを使用することができるようになります。
- ・認証を維持し続ける為に、定期的に認証機関の監査を受ける必要があります。
- ・2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックでは、ポスターやチラシ、 チケット、紙製の生活消耗品などに FSC 認証紙を採用すると発表されています。



適切に管理された森林の木材を使用するので 森林破壊防止につながる。



使用する上で特段デメリットはありません。

ただし、FSC マークを表示・印刷する場合は FSC 認証取得した 印刷・加工会社でなければマークの印刷ができません。



環境に配慮した管理されている森林から紙を作る





(大阪本社) 〒540-0027 大阪市中央区鎗屋町1-2-12 TEL:(06)6942-0201 FAX:(06)6942-4032 (東京営業所) 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-1-7 カーサ九段303号室 TEL:(03)6272-9794 FAX:(03)6272-9804

